



テクニカル・メッセージ

エアサスペンション付トラック 点検・整備時の注意事項について

エアサスペンションのレベリングタイマー機能が起動している状態でフレーム下面にジャッキ等を掛けてジャッキアップを行うと、エアサスペンションが伸び切り、エアスプリングが変形（めくれ）する事があります。また、変形した状態で車両を使用し続けると、エアスプリングやサポートビームが損傷する恐れがあります。

エアサスペンション搭載車は、点検・整備する際は必ずレベリングタイマー機能を終了してからの作業をお願い致します。

■ 対象車両

ポスト・ポスト新長期（2＊G付）大型トラック、中型トラック（エアサスペンション搭載車）

■ 変形（めくれ）の発生事例



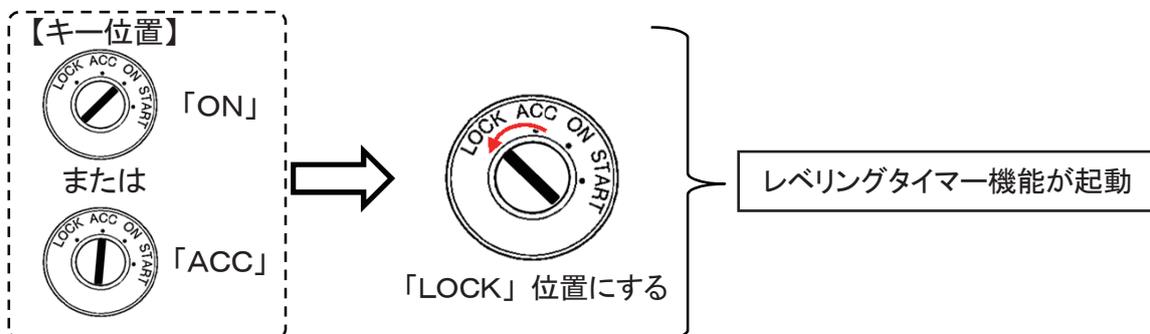
変形（めくれ）発生箇所

注意

エアスプリングが変形した状態で車両を使用し続けると、エアスプリングやサポートビームが損傷する恐れがあります。

■ レベリングタイマー機能について

『キー位置を「ON」または「ACC」から「LOCK」位置にする』とレベリングタイマー機能が起動します。



※ レベリングタイマー機能とは

⇒積荷の重量に関わらず荷台高さを一定に保ち、荷物の積み降ろしの際に自動的に荷台の高さを調節する機能です。

■ 点検・整備時の注意事項

エアサスペンション搭載車は、点検・整備等で**ジャッキアップを行う際は、必ずレベリングタイマー機能を終了してからの作業**をお願い致します。

【レベリングタイマー機能 終了方法】



1) スタータキーを「ON」または「ACC」の位置から「LOCK」位置にする。

2) ハイコントールリモコンユニットの「前（後）車軸選択ボタン」を押し、車軸選択ランプが点灯する事を確認する。

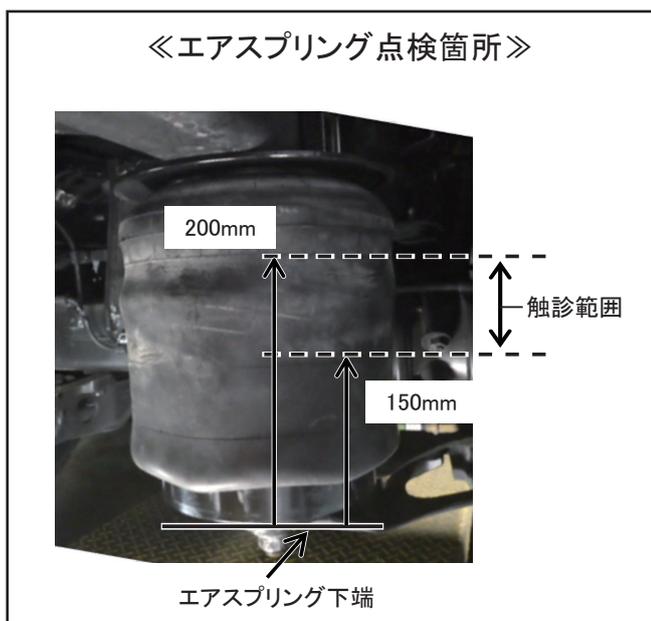
3) 「STOPボタン」を約5秒間長押しして、車軸選択ランプが消灯する事を確認する。



レベリングタイマー機能が終了すると「前（後）車軸選択ボタン」を押しても、車軸選択ランプが点灯しなくなります。（再度キーを ON/OFF すると復帰します。）

■ 変形（めくれ）の確認方法

変形（めくれ）は目視では確認しにくい事があるため、確認する場合は必ず下記要領にて確認をお願い致します。



1) ジャッキ等をフレーム下面と同じ高さになる様にフレーム下面にセットする。

2) ハイコントールリモコンユニットで車高を下げエアスプリングから完全にエアを排出する。

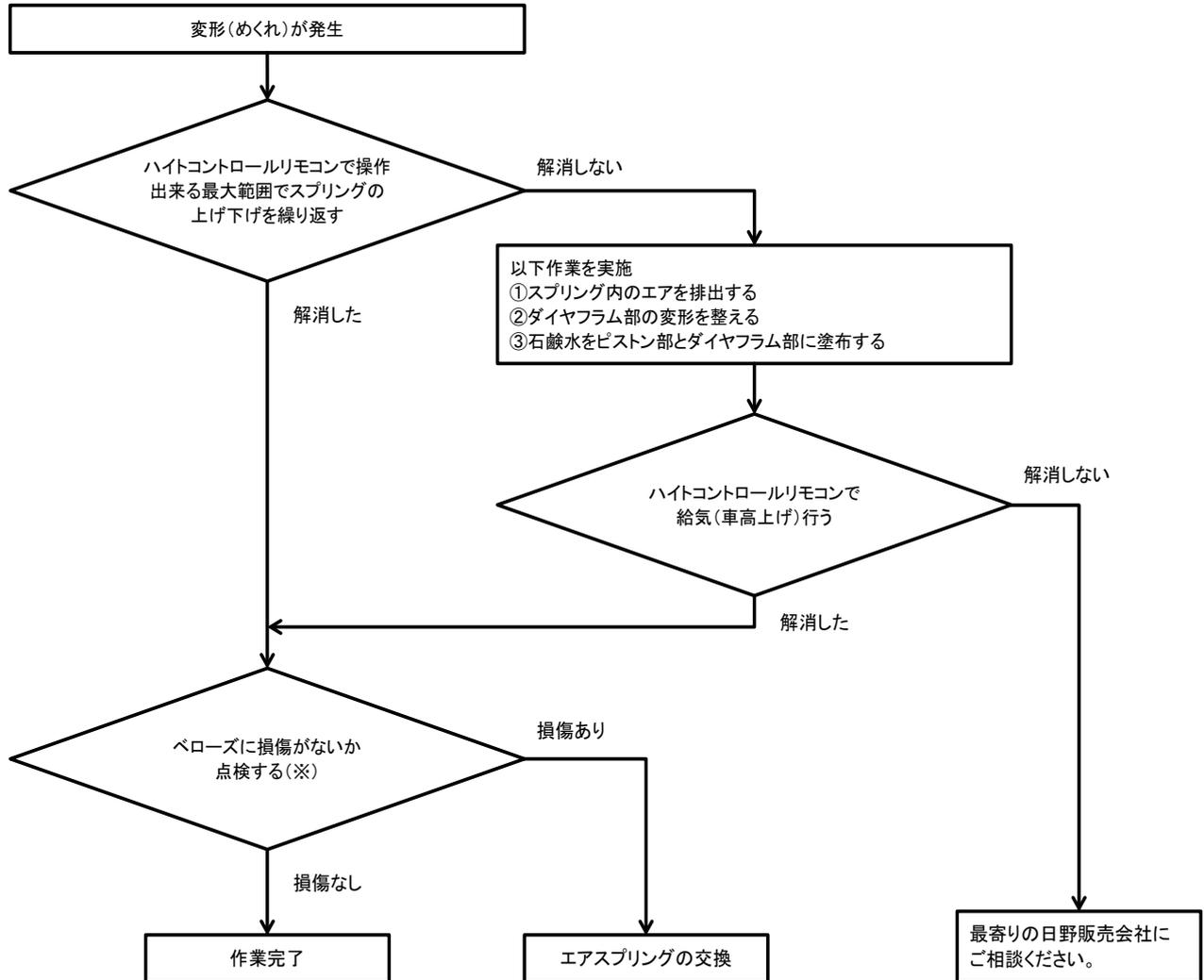
3) エアスプリング下端から 150～200mm の範囲を全周に渡って手で押し込む様に触り、押し込めない箇所や他より硬い箇所がないか点検する。



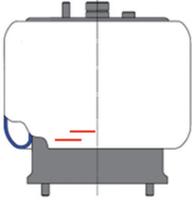
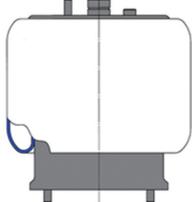
変形（めくれ）が発生していた場合、エアスプリング全周にリング状のコブが触診にて確認できます。

■ 変形（めくれ）が発生した際の対処方法

変形（めくれ）が発生・確認できた場合は、下記フローチャートに従い修正を行ってください。また、下記フローチャートの修正作業を実施しても改善されない場合は、最寄の日野販売会社にご相談ください。



(※) エアスプリング ベローズの交換基準

損傷の種類	損傷の状態	損傷発生場所	交換の目安
外層ゴムの屈曲疲労による亀裂		 ダイヤフラム屈曲部に発生	内層の補強糸が見えたら交換が必要です
干渉・飛び石による亀裂		 ダイヤフラム全体に発生	内層の補強糸が見えたら交換が必要です